

2012年8月27～29日；宮城県東松島市における交流ボランティア活動

～四日市東日本大震災支援の会 第13回派遣～

四日市大学・四日市看護医療大学・東北学院大学・桑名北高校の学生・生徒による交流会

四日市東日本大震災支援の会

代表 鬼頭浩文

第13回目の派遣となる今回の活動は、3月にも交流会を開催した矢本運動公園仮設住宅で企画した。矢本運動公園には、393世帯が暮らす大規模な仮設住宅が設置されている。ここには、大きな集会所が2つ設置されており、また武道場があるなど、企画の自由度は高い。当初は武道場を利用して子供たちを対象にするイベント企画を検討したが、夏休みが終了した時期でもあり、お茶会と足浴を中心とする交流会となった。また、今回の派遣の前後に、ヒアリングや視察なども実施し、今後の東北支援のあり方について考察する機会を得た。

<参加者41名>

四日市大学	学生6名+教員1名
四日市看護医療大学	学生24名+教員4名
桑名北高校	生徒2名+教諭2名
東北学院大学	学生2名（みまもり隊が現地で合流）

<スケジュール>

8月26日(日)	13:00	先発隊2名が東京で開催された看護歴史学会に参加 *石巻赤十字病院の看護部長さんに当時のお話を聞かせていただいた
27日(月)	11:30	先発隊3名が仙台に、現地で石巻関係者2名と合流
	14:00	東松島市保健センターにて保健福祉部にヒアリング
	16:30	石巻西高校にて市民大学に生徒を講師として招聘する件の打ち合わせ
	17:00	矢本運動公園仮設において下見と打ち合わせ
	18:00	28日夜に学生がホームステイをする大森さんのお宅で打ち合わせ
	19:00	もと石巻北高校教諭の高橋氏と食事・情報交換
28日(火)	08:00	宮城県東松島市 大曲浜の視察(小野氏に被災の話を聴かせて頂いた)
	09:00	矢本運動公園仮設に到着、戸別訪問 and 交流会準備 *四日市看護医療大学の学生中心に8チームに分かれて戸別訪問 *桑名北高校生徒2名・東北学院大学学生2名がサポート
	12:00	石巻北高校を訪問(桑名北高校生徒2名+教諭2名+鬼頭)
	13:00	交流イベント開始 *四日市看護医療大学(血圧測定・足湯マッサージ・子どもと遊ぼう) *四日市大学(茶話会:伊勢茶と四日市の和菓子)
	15:00	鬼頭・伊藤;石巻専修大学に、もと東松島市教育長の教授を訪問
	16:30	片付け 本隊;→仙台で入浴 →名古屋へ向けて出発
	19:00	延泊組;大森さんと食事、ホームステイ、被災のお話を聴いた
29日(水)	06:30	本隊;四日市帰着、片付け後、朝食。振り返りミーティング後、解散
	09:30	(以下延泊組)ひびき工業団地仮設住宅設置の成瀬サポセンでヒアリング
	12:00	石巻門脇地区の被災を視察、石巻市民病院の被害を視察
	14:00	女川の激甚被災地を視察
	15:00	大川小学校の視察
	16:00	上品の郷で入浴
	18:00	仙台到着
	21:30	バス出発(仙台→名古屋) 翌30日(木)6:30名古屋駅到着、解散